

令和5年湯河原春のたより俳句大会入選作品

十五位	十四位	十三位	十二位	十一位	十位	九位	八位	七位	六位	五位	四位	県俳連会長賞	観光協会賞	町長賞	順位
7	7	8	8	9	9	9	9	10	10	11	11	11	12	12	得点
204	31	51	208	191	198	80	193	89	44	135	168	1	185	10	句番
列島に微熱のはしる桜かな	亀鳴くや傷心に貼る絆創膏	はは在せば背負ひて行かむ花の下	亀鳴くや忘れしことも忘れをり	欲捨てよすてよと亀の鳴きにけり	ほどほどに長生きせよと亀の鳴く	八十路なほ進化の途上亀鳴けり	亀鳴くや今日は何日何曜日	咲ききつて人遠くする桜かな	夕暮の色となりゆく桜かな	桜見てをり人も世も遠ざけて	胎動の力強きやさくら咲く	咲くも孤独散るも孤独の山桜	亀鳴くはこんな刻かも月の暈	寂しいと言えぬプライド花の冷	作品
川崎市	平塚市	益田市	三島市	熱海市	東京都	茅ヶ崎市	東京都	湯河原町	真鶴町	南足柄市	横浜市	大井町	小田原市	平塚市	住所
常盤 倫子	大佐田うづき	石川 子熊	小阪三奈子	須藤 剛一	荒井 泉	清水 吞舟	持原 篤子	吉田キヨ子	武村 桂子	二見 和江	堀 孝子	小野 菊土	田村 禎子	大佐田うづき	氏名